

概要	○ 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。 ○ 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 本日（31日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約5,100名態勢で活動。
本日（31日）の自衛隊の主な活動	【主な活動部隊等】 陸自第42即応機動連隊（北熊本・熊本）、陸自第8特殊武器防護隊（北熊本・熊本）、陸自第105補給大隊（目達原・佐賀）、陸自第8高射特科大隊（北熊本・熊本）、陸自第8通信大隊（北熊本・熊本）、陸自第5地对艦ミサイル連隊（健軍・熊本）、陸自第8飛行隊（高遊原・熊本）、陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、海自艦艇5隻（ぶんご、げんかい、えんしゅう、水中処分母船5号、いせ）、空自第8高射隊（高良台・福岡）、空自第2移動通信隊（春日・福岡）、空自第3移動警戒隊（春日・福岡）、空自第7高射隊（築城・福岡） 等 【人命救助活動】 ○ 商業施設（イオンモール熊本）において、陸自第42即応機動連隊の人員約170名で人命救助活動を実施。 【輸送活動】 ○ 陸自V-22、海自SH-60及びMCH-101により、救援物資を護衛艦「いせ」から陸自高遊原分屯地等に輸送を実施。 【給水支援活動】 ○ 本日（31日）も、八代市や宇城市をはじめとする市町の計41箇所において、人員約160名、水タンク車及び水トレーラー計49両により、引き続き給水支援活動を実施。 【入浴支援】 ○ 陸自第8後方支援連隊が、熊本市にて入浴支援を実施。 【連絡員の派遣状況】 ○ 連絡員について、熊本県庁等に、最大31箇所・延べ約90名派遣。 活動の様子（7月31日）  護衛艦「いせ」から陸自V-22に救援物資を搭載する陸海自隊員  陸自高遊原分屯地にて陸自V-22から救援物資を卸下する陸自隊員  病院へ給水を行う空自隊員  入浴セットを準備する陸自隊員  陸自第8後方支援連隊「火の国温泉」